

平成30年度 第5回 岐阜県立多治見病院倫理委員会議事録

開催日時	平成30年 8月 2日 (木) 16時30分 から 17時00分
開催場所	中央診療棟 3階会議室
出席者	伊藤 淳樹、石垣 智康、和田 耕三、根岸 豊、大野 元嗣、 高田 知二、肥田 信子、川村 知子、堀内 正、伊藤 治彦、 八田 将志
欠席者	松葉 英之、松原 千里、
出席状況 (参加者数/定数)	11名 / 13名

議 事

1 審査事項

- ・受付番号：2018-12

切除不能膵癌におけるサルコペニアの臨床的意義

(説明者：消化器内科 羽根田 賢一)

《審査結果》承認

(意見) 膵がんの患者さん存命の方、なくなった方全てか。

(回答) 対象は両方。

(意見) 年齢補正や基準はあるか。

(回答) 年齢の補正はない、身長で補正する。BMIのように身長²で除して標準化する。

(意見) 観察と検査項目に副作用の項目はないか。

(回答) 一般的な副作用で出現したかどうかという形。

- ・受付番号：2018-13

緩和ケア病棟における看護実践の質向上に向けた取り組み

(説明者：看護部 尾関)

《審査結果》条件付承認

(意見) データによっては、病院と書類から個人が特定される可能性がある。方法を考えていただかないといけな。

(回答) 特定されることは無いように考えている。発表する機会は岐阜県の看護実践研究会と関連する学会。個人は特定されないように配慮する。

(意見) ICレコーダーの許可が必要なのでは。もう少し詰めてもらおうと良い。

(意見) 看護の質をどうやって評価するのか。その人らしさは主観的なので客観的に評価するのか。

(意見) データの扱いがあやふやなので、どういうデータをとってどういうデータを使うのか明らかにしないとえらいし、それによって患者さんに同意をとるのかオプトアウトにするのか。

(意見) 件数を絞ることがリスクを追うことになる。

(回答) 5人と特定してしまうとわかってしまう。勘ぐってしまっってこんなこと言われているとわかってしまう。同じような事案の方がリスクは少ない。

2 その他